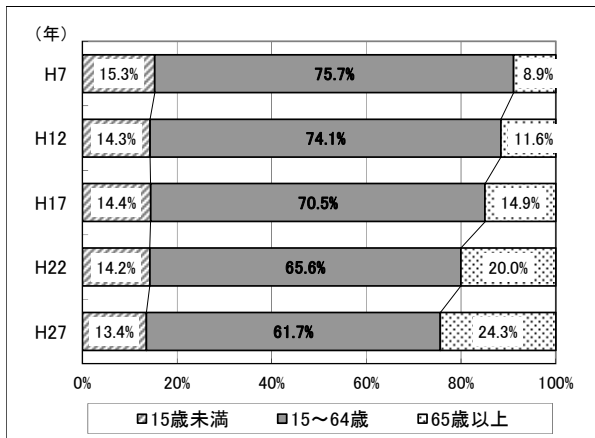


②年齢別人口構成の推移

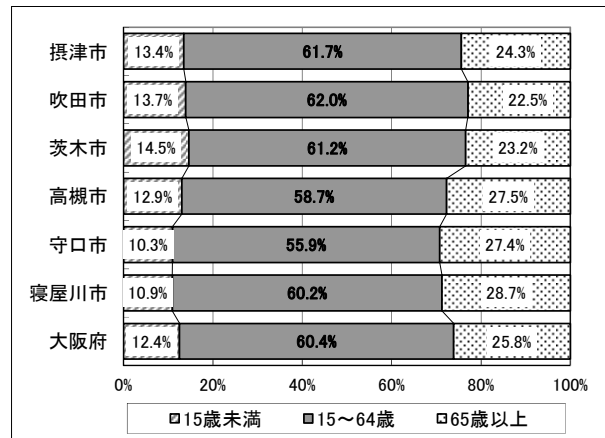
- ◇ 年少人口（15歳未満）の割合は平成22（2010）年から平成27（2015）年までの5年間で、0.8ポイント減少しています。
- ◇ 生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向が続き、割合は上記の5年間で3.9ポイント減少しています。
- ◇ 老年人口（65歳以上）は大阪府の値より低く、近隣市とは大きな差がみられないものの、増加傾向が続いており、平成27（2015）年には24.3%と、割合も上記の5年間で4.3ポイント増加しています。
- ◇ 地区別にみると、全体的に高齢化率の増加傾向がみられるなかで、安威川以南地域で高齢化率が特に高い地区がみられます。

図2-5 摂津市の年齢構成の推移
(平成7(1995)年～平成27(2015)年)



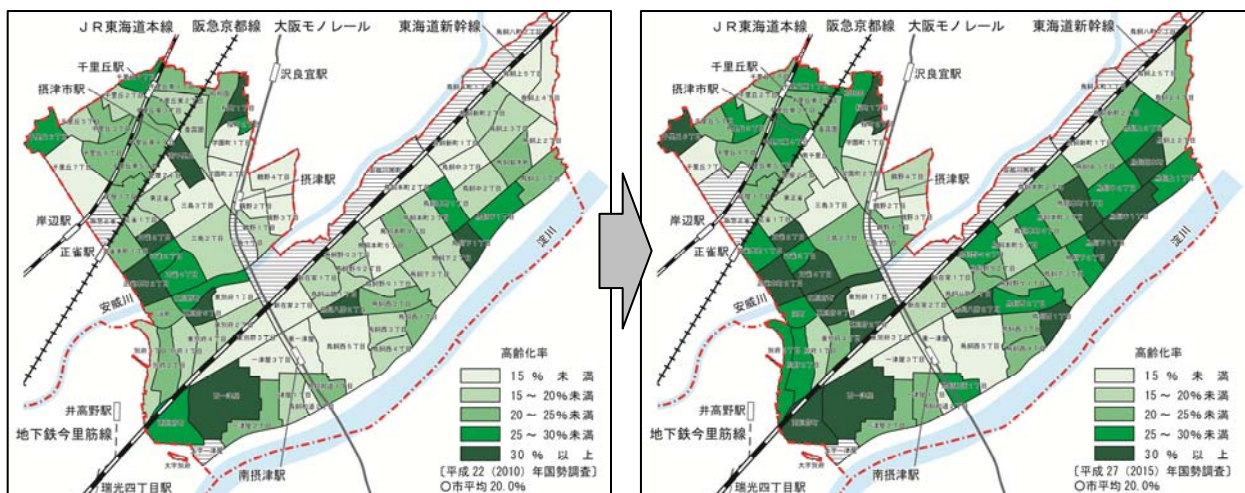
出典：各年国勢調査

図2-6 近隣市の年齢構成（平成27(2015)年）



出典：平成27(2015)年国勢調査

図2-7 地区別の高齢者の割合の推移（平成22(2010)年～平成27(2015)年）

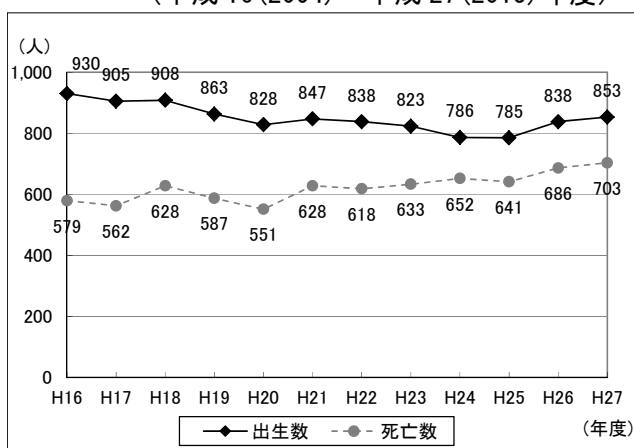


出典：各年国勢調査

③自然動態・社会動態の推移

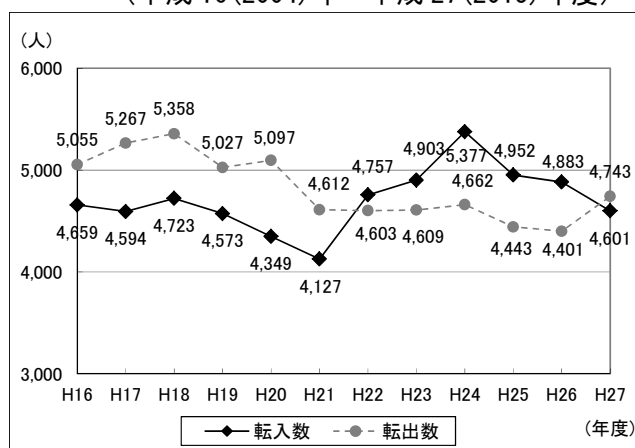
- ◇ 出生数は減少傾向が続いていましたが、平成 25 (2013) 年度以降は増加に転じています。死亡数は平成 21 (2009) 年度以降 600 人台で推移していましたが、平成 27 (2015) 年度は 700 人台に上昇しています。
- ◇ 転入出数は平成 21 (2009) 年度までの転出が転入を上回る転出超過であったものが、平成 22 (2010) 年度から平成 26 (2014) 年までは転入超過となりましたが、平成 27 (2015) 年度には、再び転出超過に転じています。
- ◇ 転出入先の状況を見ると、転入者の前住地は大阪市、吹田市、茨木市が上位を占めるものの、転出先も同様となっており近隣市間での移動が多くみられます。
- ◇ 年齢別では、転出・転入ともに 20 代前半から 40 代前半が多く、若年層の移動が顕著にみられます。また、転入超過の年齢階級の方が多いものの、0～14 歳、35～39 歳、60～74 歳では転出超過となっています。
- ◇ 昼夜間人口比率では、大阪府内では大阪市に次いで高い状況がみられます。

図 2-8 自然動態 (人口ビジョン)
(平成 16 (2004) ~平成 27 (2015) 年度)



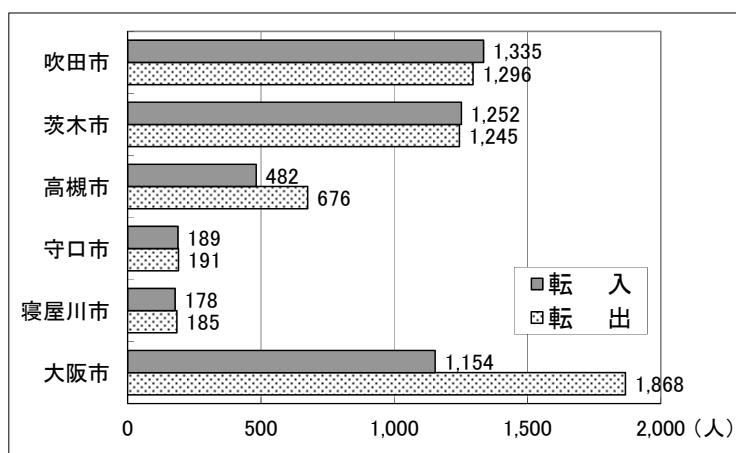
出典：摂津市人口ビジョン

図 2-9 社会動態 (人口ビジョン)
(平成 16 (2004) 年~平成 27 (2015) 年度)



出典：摂津市人口ビジョン

図 2-10 現住地 (摂津市) による転出入状況 (平成 27 (2015) 年)



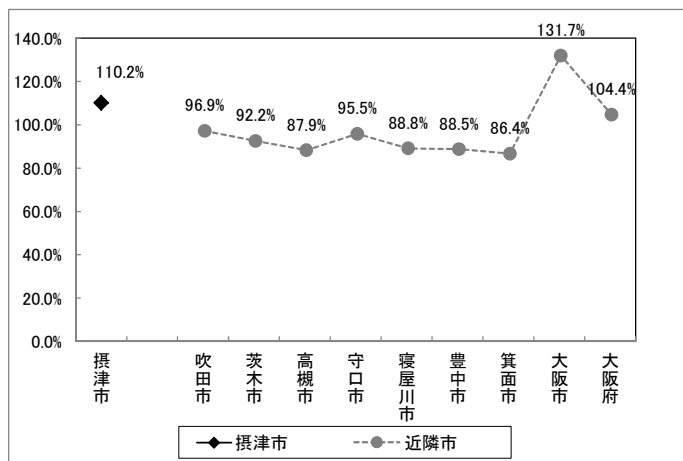
出典：平成 27 (2015) 年国勢調査

表 2-1 現住地（摂津市）による年齢別転出入状況
 （平成 17(2005)年～平成 22(2010)年、平成 22(2010)年～平成 27(2015)年）

年齢階層	平成17(2005)年～平成22(2010)年			平成22(2010)年～平成27(2015)年		
	①転入 (人)	②転出 (人)	①-②	①転入 (人)	②転出 (人)	①-②
0～4歳	321	484	▲ 163	399	472	▲ 73
5～9歳	491	944	▲ 453	510	664	▲ 154
10～14歳	270	370	▲ 100	183	260	▲ 77
15～19歳	547	274	273	422	273	149
20～24歳	1,167	676	491	1,070	584	486
25～29歳	1,880	1,567	313	1,800	1,122	678
30～34歳	1,952	2,241	▲ 289	1,995	1,595	400
35～39歳	1,434	2,101	▲ 667	1,360	1,392	▲ 32
40～44歳	781	1,118	▲ 337	1,073	1,034	39
45～49歳	486	594	▲ 108	676	587	89
50～54歳	409	431	▲ 22	493	362	131
55～59歳	329	441	▲ 112	350	287	63
60～64歳	339	570	▲ 231	314	339	▲ 25
65～69歳	210	379	▲ 169	273	338	▲ 65
70～74歳	108	222	▲ 114	217	221	▲ 4
75～79歳	123	148	▲ 25	212	140	72
80～84歳	131	121	10	206	123	83
85歳以上	160	113	47	199	174	25
合計	11,138	12,794	▲ 1,656	11,752	9,967	1,785

出典：各年国勢調査

図 2-11 昼夜間人口比率



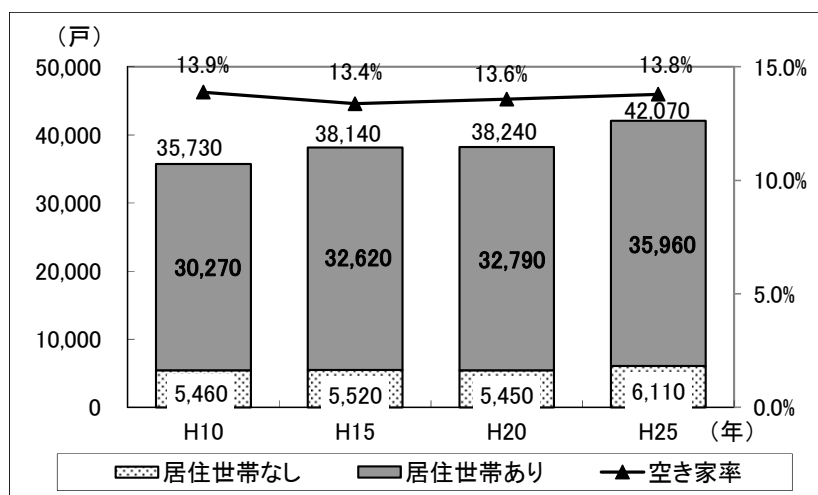
出典：平成 27(2015)年国勢調査

(2) 住宅ストック*の状況

①住宅数の推移

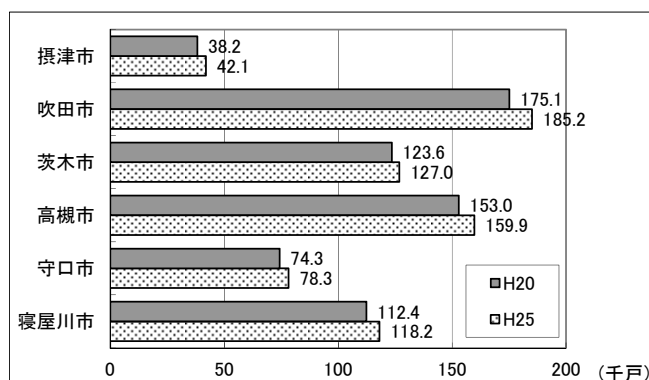
- ◇ 住宅戸数は依然として増加傾向が続き、近年の大規模住宅供給に伴い、平成 25 (2013) 年では 42,070 戸と、平成 20 (2008) 年から 3,830 戸増と急増しています。
- ◇ 近隣市の状況では、いずれも住宅戸数は増加傾向がみられます。
- ◇ 空き家数では、住宅戸数の増加もあり、平成 25 (2013) 年の空き家率は 13.8% となっています。近隣市と比較しても大きな差はみられません。

図 2-12 摂津市の住宅戸数の推移 (平成 10(1998)年～平成 25(2013)年)



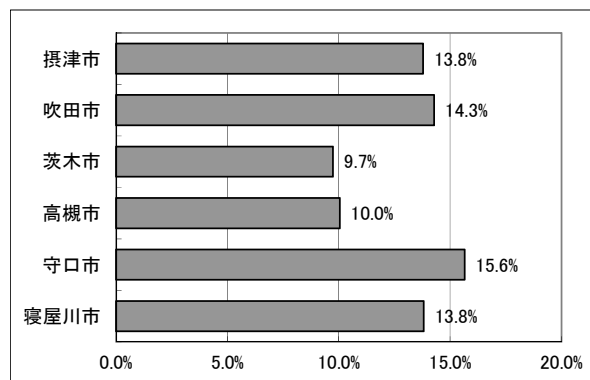
出典：各年住宅・土地統計調査

図 2-13 近隣市の住宅戸数の推移
(平成 20(2008)年・平成 25(2013)年)



出典：各年住宅・土地統計調査

図 2-14 近隣市の空き家率 (平成 25(2013)年)

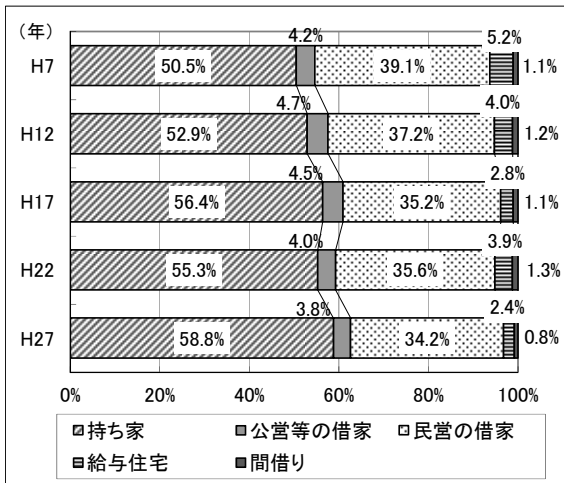


出典：平成 25(2013)年住宅・土地統計調査

②所有関係の推移

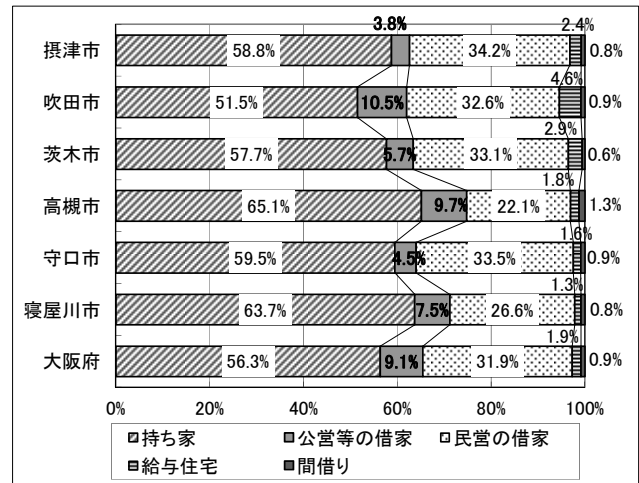
- ◇ 持ち家の割合は依然として増加傾向が続き、近年の大規模住宅供給に伴い、平成 27 (2015) 年では 58.8%と、平成 22 (2010) 年から 3.5 ポイント増えています。次いで民営の借家は減少傾向があるものの、平成 27 (2015) 年は 34.2%となっています。
- ◇ 近隣市と比較すると、持ち家と民営の借家の割合は大阪府の値よりも高くなっているものの、公営の借家では大阪府や近隣市に比べ低い状況がみられます。
- ◇ 地区別では、安威川以南で持ち家型が広く分布する状況が続いており、以北では平成 22 (2010) 年は民営借家型が広く分布していましたが、平成 27 (2015) 年では持ち家割合の向上に伴い混在型 (持ち家と民営借家) の広い分布がみられる状況となっています。

図 2-15 摂津市の住宅の所有関係の推移
(平成 7(1995)年～平成 27(2015)年)



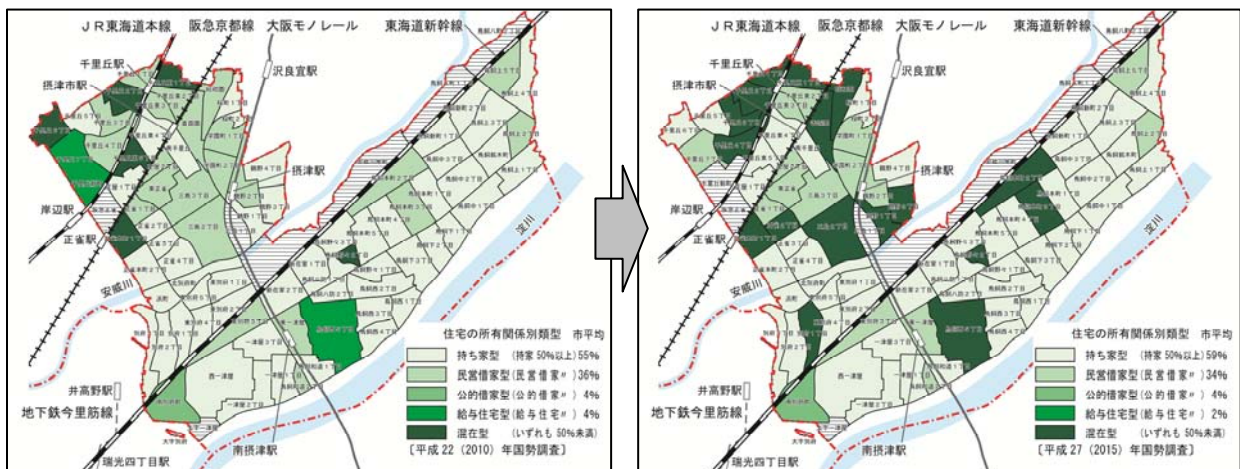
出典：各年国勢調査

図 2-16 近隣市の住宅の所有関係
(平成 27(2015)年)



出典：平成 27 (2015) 年国勢調査

図 2-17 地区別の住宅所有関係の推移 (平成 22(2010)年・平成 27(2015)年)

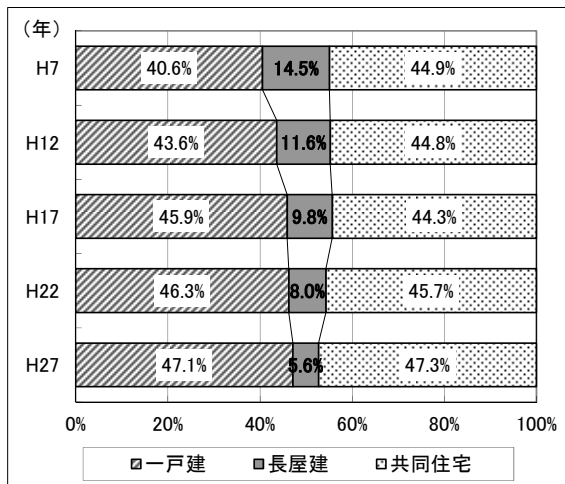


出典：各年国勢調査

③建て方の推移

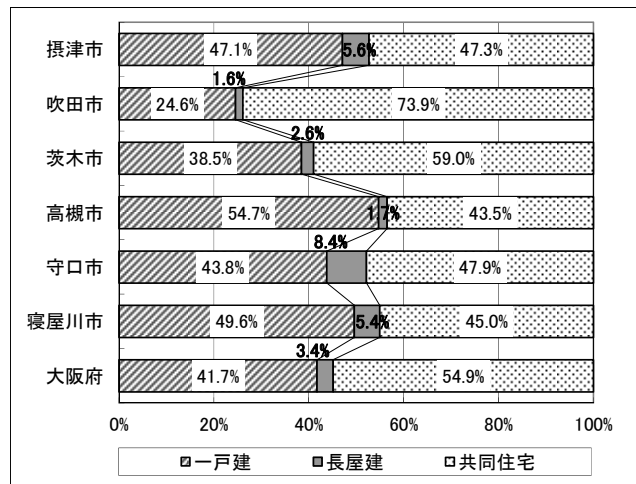
- ◇ 一戸建住宅の割合は依然として増加傾向が続いており、平成 27 (2015) 年では 47.1%と平成 22 (2010) 年から 0.8 ポイント増えています。
- ◇ 共同住宅の割合は、近年の大規模住宅供給に伴い、平成 27 (2015) 年では 47.3%と一戸建を抜き、平成 22 (2010) 年から 1.6 ポイント増えています。
- ◇ 長屋建の割合は減少傾向が続き、平成 27 (2015) 年で 5.6%と平成 22 (2010) 年から 2.4 ポイント減っています。
- ◇ 近隣市と比較すると、一戸建や長屋建の割合は大阪府の値よりも高いものの、共同住宅では大阪府に比べて低い状況がみられます。
- ◇ 地区別にみると、安威川以北で共同住宅の割合が高く、広い分布がみられ、以南では駅周辺を除き一戸建が広くみられます。

図 2-18 摂津市の住宅の建て方の推移
(平成 7(1995)年～平成 27(2015)年)



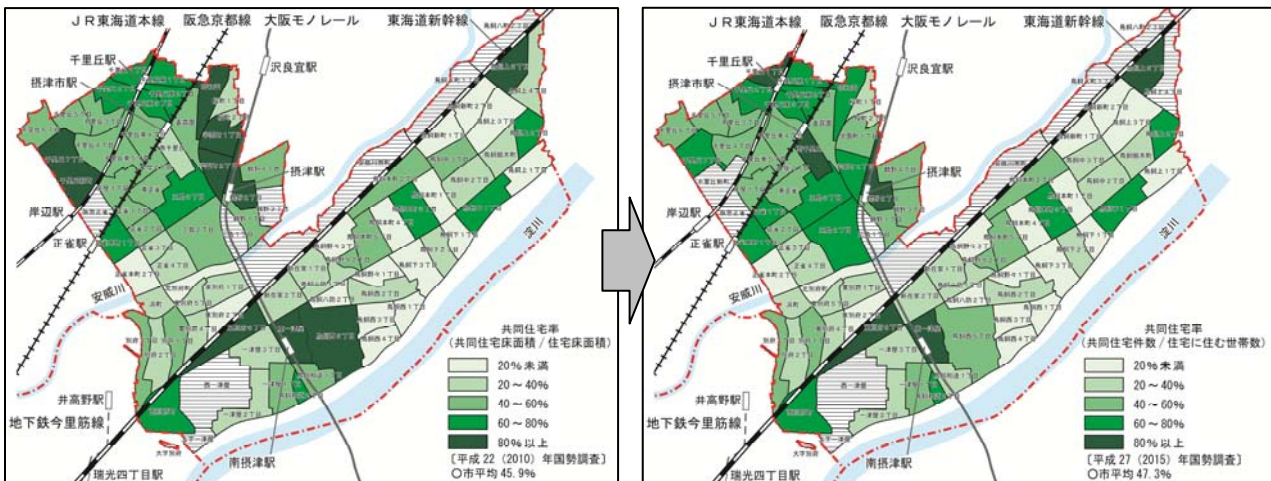
※その他を除く 出典：各年国勢調査

図 2-19 近隣市の住宅の建て方
(平成 27(2015)年)



※その他を除く 出典：平成 27(2015)年国勢調査

図 2-20 地区別の共同住宅率の推移 (平成 22(2010)年～平成 27(2015)年)

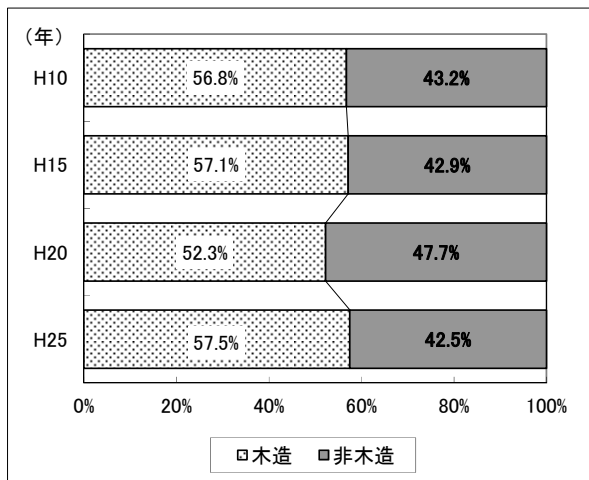


出典：各年国勢調査

④構造の推移

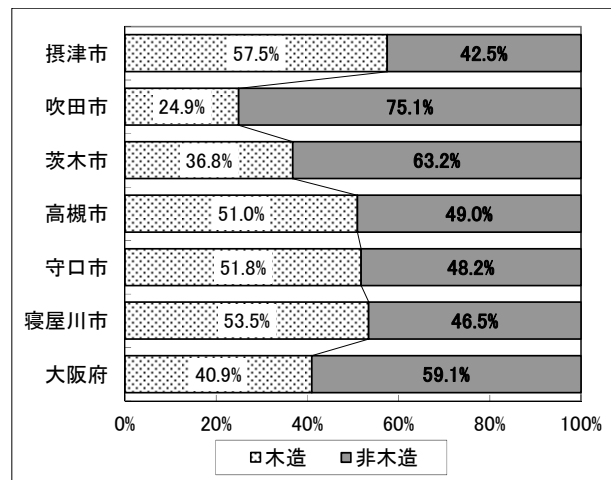
- ◇ 木造住宅（防火木造含む）と非木造住宅の割合は横ばい状況にあり、木造が平成25（2013）年では57.5%、非木造が42.5%となっています。
- ◇ 近隣市と比較すると、木造率は大阪府や近隣市に比べて高くなっています。
- ◇ 地区別にみると、木造率が高い地区は安威川以北・以南ともに広い分布がみられますが、駅周辺などでは木造率が低くなっています。

図 2-21 摂津市の木造率の推移
（平成 10(1998)年～平成 25(2013)年）



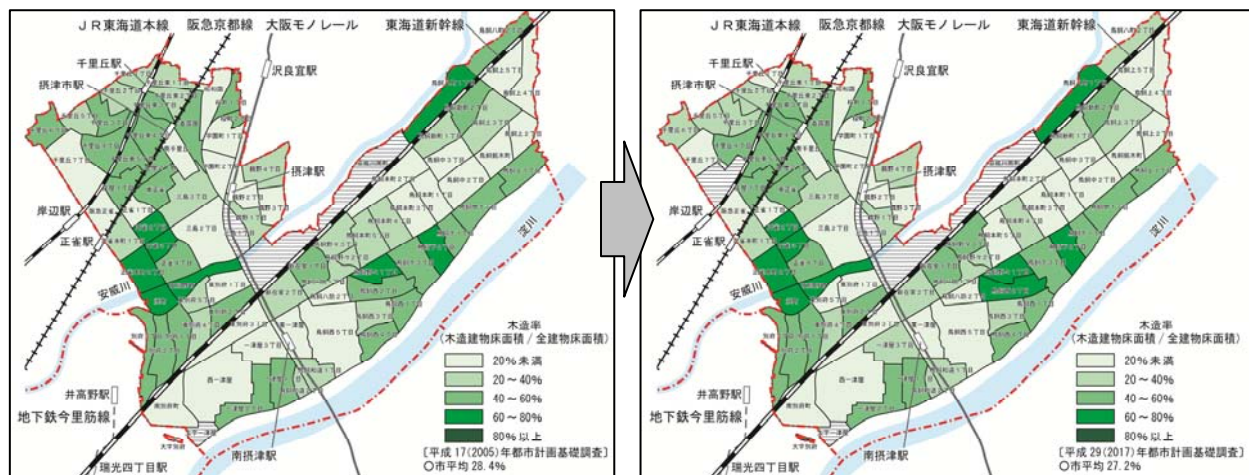
出典：各年住宅・土地統計調査

図 2-22 近隣市の木造率の推移
（平成 25(2013)年）



出典：各年住宅・土地統計調査

図 2-23 地区別の住宅の木造率の推移（平成 17(2005)年～平成 29(2017)年）

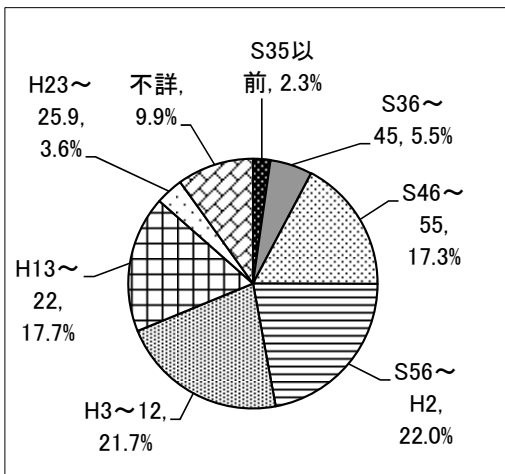


出典：各年都市計画基礎調査

⑤建設時期の推移

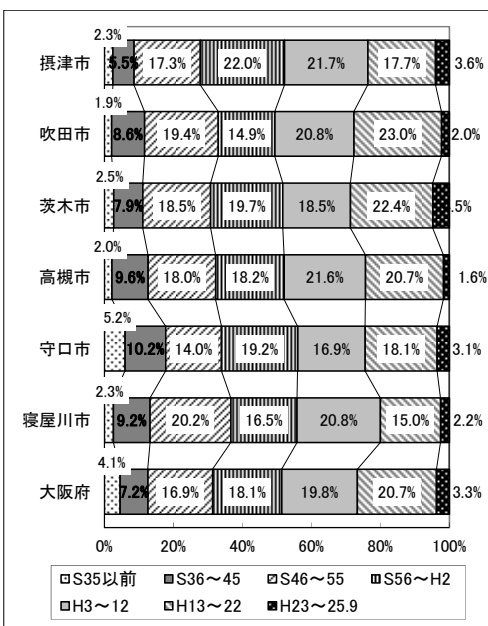
- ◇ 住宅の建設時期は、昭和 56 (1981) 年以降が多くみられるものの、昭和 55 (1980) 年以前に建てられた戸数が 25.1%と約 1 / 4 を占めています。
- ◇ 近隣市と比較すると、昭和 56 (1981) 年以降の割合はやや高い状況がみられます。
- ◇ 地区別にみると、全体的に老朽住宅の割合が平成 17 (2005) 年に比べ平成 29 (2017) 年で低下しているものの、市街化が早くに進んだ地区では依然として昭和 60 (1985) 年以前の建物が多くみられます。一方、昭和 61 (1986) 年以降の建築の割合は建替えにより高まり、市全域に広く分布しています。

図 2-24 摂津市の住宅建設時期別戸数の割合



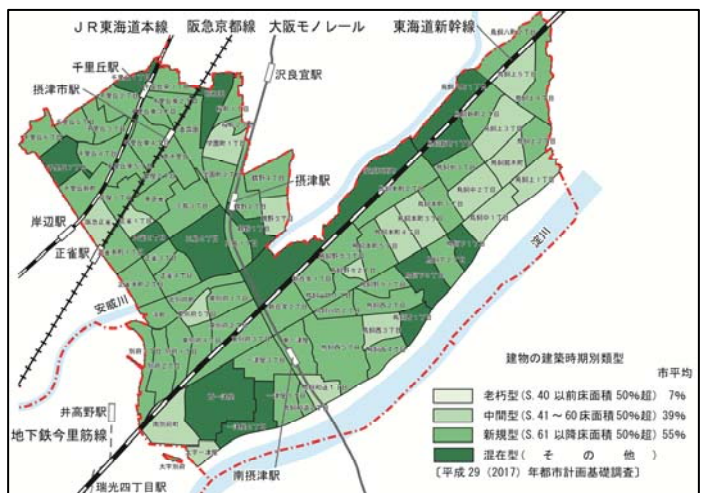
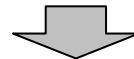
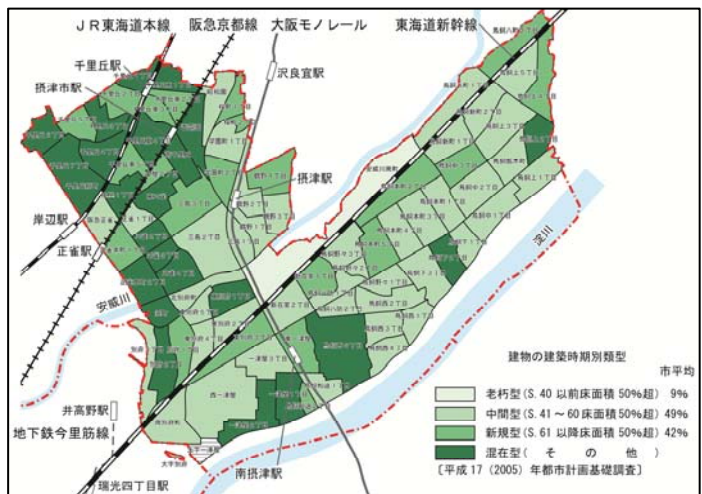
出典：平成 25 (2013) 年
住宅・土地統計調査

図 2-25 近隣市の住宅建設時期別戸数の割合 (平成 25 (2013) 年)



※総数には建設時期不詳を含む

図 2-26 地区別の建物の建築時期別類型の推移 (平成 17 (2005) 年・平成 29 (2017) 年)



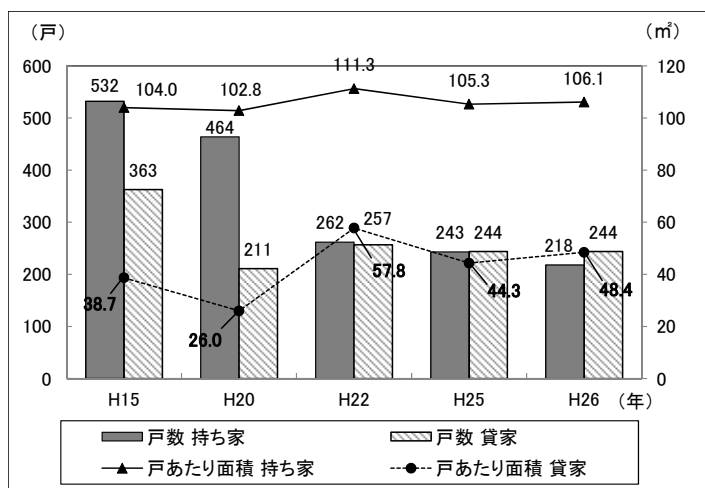
出典：各年都市計画基礎調査

出典：平成 25 (2013) 年
住宅・土地統計調査

⑥住宅建設の推移

- ◇ 住宅の新築着工戸数は、平成 15 (2003) 年以降減少傾向にあり、平成 22 (2010) 年以降は 400~500 戸で横ばいの状況となっています。
- ◇ 平成 20 (2008) 年以前は、持ち家の着工数が多い状況にありましたが、平成 22 (2010) 年以降は持ち家と借家 (貸家) の差がほとんどみられません。
- ◇ 住宅 1 戸あたりの延床面積は、持ち家は 100 m² 超で横ばい傾向にあり、借家は平成 22 (2010) 年に 57.8 m² と大きく増加し、以降は横ばい傾向にあります。
- ◇ 地区別の 1 人当たり平均延床面積は、平成 24 (2012) 年から平成 29 (2017) 年の 5 年間で 6.5 m² 増加しており、平成 29 (2017) 年には 25 m² / 人未満の地区がなくなり、市整体的に拡大傾向にあります。

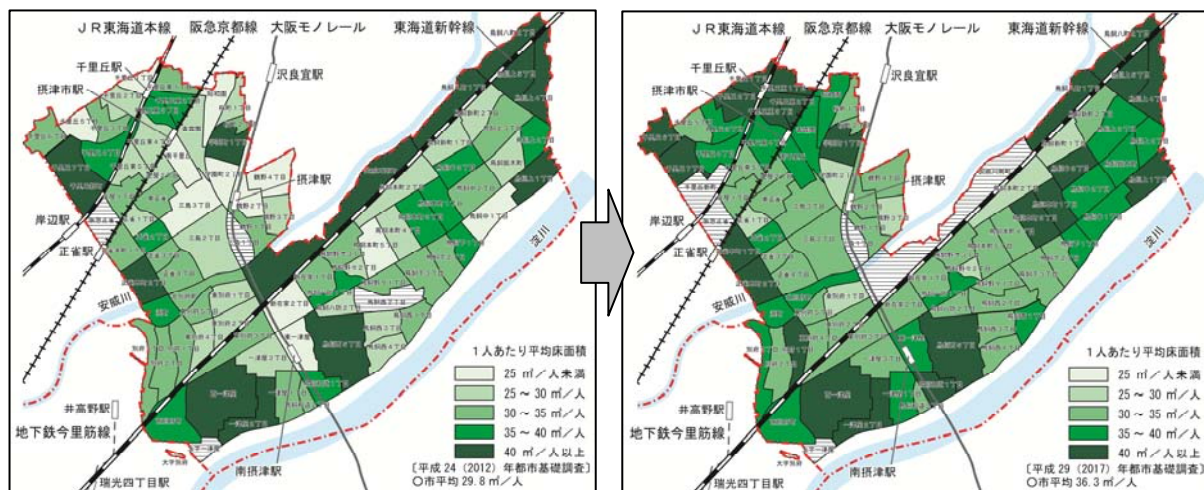
図 2-27 摂津市の新築着工戸数と延床面積の推移
(平成 15 (2003) 年~平成 26 (2014) 年)



※持ち家：持ち家+分譲住宅
貸家：貸家+給与住宅

出典：各年建築統計年報

図 2-28 地区別の 1 人当たりの延床面積の推移 (平成 24 (2012) 年・平成 29 (2017) 年)

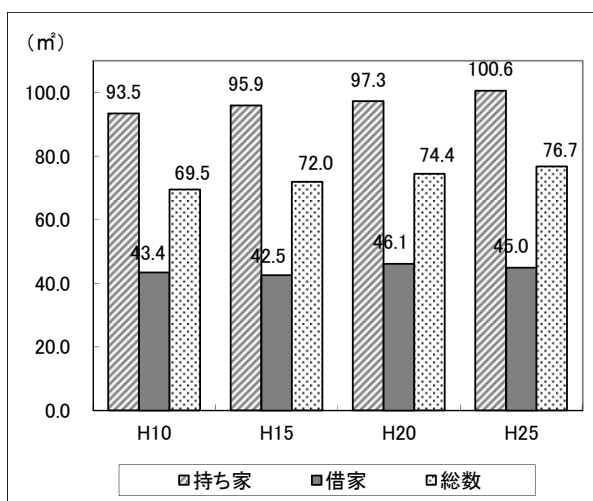


出典：各年都市計画基礎調査

⑦住宅の床面積・家賃の推移

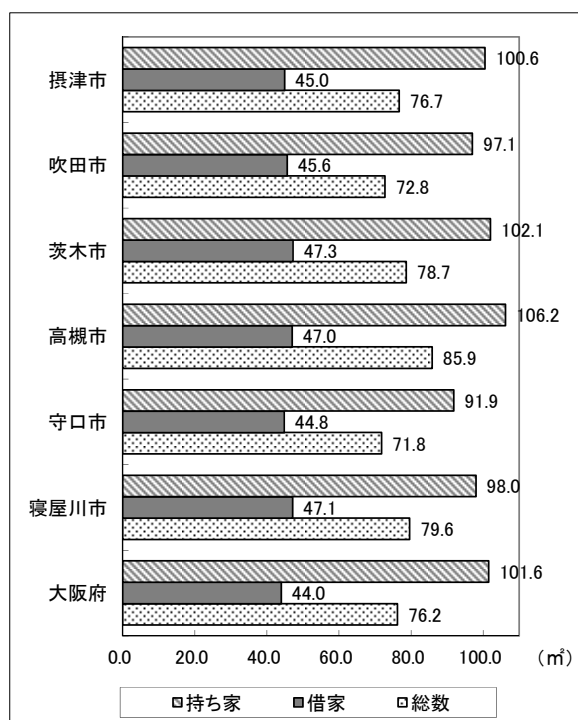
- ◇ 住宅の延床面積は、持ち家では平成 10（1998）年以降増加傾向がみられ、平成 25（2013）年には 100 m²を越えています。一方、借家はほぼ横ばいの状況となっています。
- ◇ 近隣市と比較すると、大阪府や近隣市の値とほぼ同じ状況がみられます。
- ◇ 1 m²当たりの家賃では、平成 25（2013）年は平成 20（2008）年に比べ、大阪府や近隣市と同様に低下しています。

図 2-29 摂津市の戸当たり延床面積の推移
(平成 10(1998)年～平成 25(2013)年)



出典：各年住宅・土地統計調査

図 2-30 近隣市の戸当たり延床面積
(平成 25(2013)年)



出典：平成 25(2013)年住宅・土地統計調査

表 2-2 近隣市の延床面積 1 m²当たりの家賃別戸数 (平成 25(2013)年)

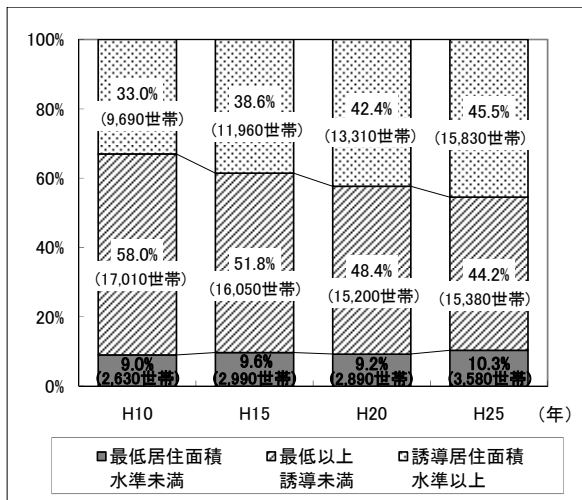
区分	総数 (戸)	延べ面積 1 m ² 当たり家賃別戸数 (戸)											延べ面積 1 m ² 当たり家賃 (円) ※家賃 50 円未満を含まない	前回 (H20) との比較
		0	1 ~ 499	500 ~ 999	1000 ~ 1499	1500 ~ 1999	2000 ~ 2499	2500 ~ 2999	3000 ~ 3999	4000 ~ 5999	6000 ~	不詳		
摂津市	13,100	130	230	1,280	5,200	2,980	2,160	630	270	30	-	200	1,364	0.96
吹田市	51,970	560	1,580	3,510	11,770	10,480	9,670	5,480	4,210	1,940	480	2,280	1,603	0.89
茨木市	36,720	390	310	3,080	12,690	10,110	5,740	1,750	1,190	400	40	1,010	1,463	0.92
高槻市	33,400	580	710	3,050	9,520	7,830	6,460	2,540	1,310	300	140	960	1,414	0.96
守口市	22,520	530	1,220	3,190	6,890	5,770	2,990	550	560	330	-	480	1,240	0.86
寝屋川市	26,120	710	610	4,650	11,490	4,560	1,330	990	400	360	-	1,020	1,214	0.86
大阪府	1,225,900	14,100	35,100	123,900	325,000	278,000	200,000	96,900	69,700	36,600	4,400	42,100	1,468	0.94

出典：平成 25(2013)年住宅・土地統計調査

⑧居住水準・密集度の推移

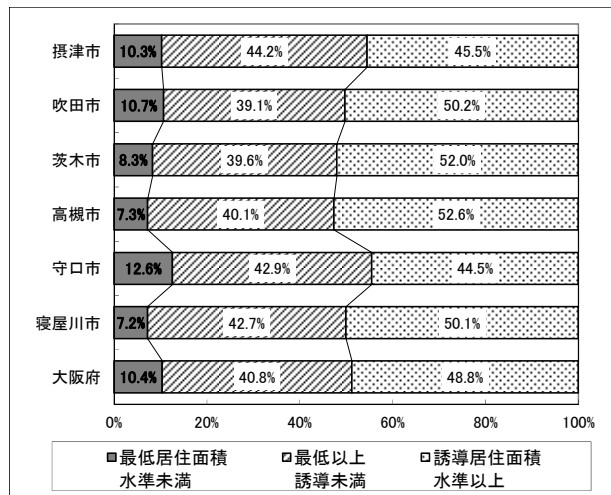
- ◇ 最低居住面積水準*未満に居住する世帯数は、平成 10 (1998) 年以降横ばいで平成 25 (2013) 年で 3,580 世帯 (10.3%) となっています。
- ◇ 誘導居住面積水準*以上は、増加傾向がみられ、平成 25 (2013) 年に 15,830 世帯 (45.5%) で平成 20 (2008) 年に比べ 3.1 ポイントの上昇となっています。
- ◇ 近隣市と比較すると、大阪府や近隣市の値とほぼ同じ状況がみられます。
- ◇ 木造住宅の密集度を地区別でみると、平成 17 (2005) 年では安威川以北の鉄道駅周辺や長屋建が多い地区で高く、以南でも長屋建が多い地区で高い状況がみられましたが、平成 29 (2017) 年は以北で新築や建替えなどにより高い地区が減っている状況がみられます。

図 2-31 摂津市の居住水準の推移
(平成 10 (1998) 年～平成 25 (2013) 年)



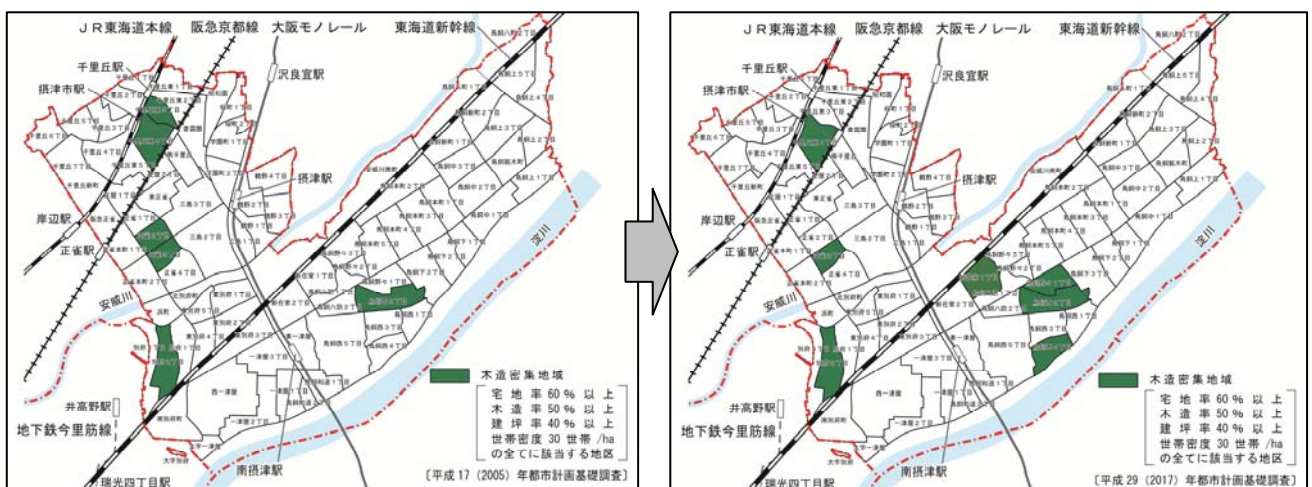
出典：各年住宅・土地統計調査

図 2-32 近隣市の居住水準
(平成 25 (2013) 年)



出典：平成 25 (2013) 年住宅・土地統計調査

図 2-33 地区別の木造密集地域の推移 (平成 17 (2005) 年・平成 29 (2017) 年)



出典：平成 17 (2005) 年・平成 29 (2017) 年
都市計画基礎調査

⑨公営住宅の推移

- ◇ 市営住宅の戸数は、平成 24 (2012) 年に三島団地 84 戸を建替えて供用開始し、現在 4 団地 210 戸となっています。
- ◇ 府営住宅は 4 団地 1,010 戸、都市再生機構 (UR) 住宅が 1 団地 190 戸となっています。

表 2-3 市営住宅の管理状況

(平成 30 年 12 月末現在)

名称	所在地	管理開始年月日	管理戸数	入居戸数	入居者数	構造	住戸種別
鳥飼八町	鳥飼本町 3 丁目	S50. 4. 1	16	13	24	木造平屋	3DK
一津屋第 1	一津屋 2 丁目	H9. 6. 1	40	40	73	中層耐火	2LDK 3LDK
一津屋第 2	一津屋 1 丁目	H11. 4. 1	70	69	168	高層耐火 (一部中層耐火)	2LDK 3LDK 3DK
三島	三島 2 丁目	H24. 4. 1	84	84	165	高層耐火 (一部中層耐火)	2DK 3DK-1 3DK-2
合計			210	206	430		

出典：摂津市防災管財課

表 2-4 府営住宅の管理状況

(平成 30 年 9 月現在)

名称	所在地	管理開始年度	管理戸数	入居戸数	入居者数	構造	寝室数	住戸種別
摂津正雀	正雀本町 1 丁目	S50	238	225	443	高層・中耐	2/3/4	一般住戸 高齢者向け改善住戸 車いす乗用者向け住戸
摂津南別府	南別府町	S48	639	590	1,136	高層	2/3	一般住戸 高齢者向け改善住戸
摂津味生	一津屋 1 丁目	S52	60	50	86	中耐	2	一般住戸 高齢者向け改善住戸
摂津鳥飼西	鳥飼西 2 丁目	H8	73	67	143	高層・中耐	2/3/3L/4	一般住戸 車いす乗用者向け住戸
合計			1,010	932	1,808			

出典：大阪府

表 2-5 都市再生機構住宅の管理状況

(平成 30 年 9 月現在)

名称	所在地	完成年月	管理戸数	住戸タイプ
鳥飼野々 2 丁目	鳥飼野々 2 丁目	S54. 12	190	2LDK : 69戸 3DK : 150戸

出典：都市再生機構